

みなしご通信



年頭に際し

あけましておめでとうございませす。新しい年が皆さまと動物たちにとって良い一年でありますように。特定非常

利活動
法人犬
猫みな
しご救
援隊理
事長中
谷百里。



アタチ羊になってみませす。今年も犬猫みな



しご救援隊のゆかいな仲間たちをどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。犬猫みなしご救援隊ひつじ年代表 中谷こゆき。

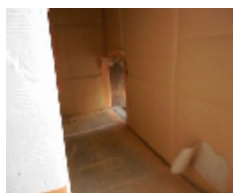
北海道芦別

朝6時、北海道有珠山SAで朝の運動。ちよつと吹雪いていたためこゆきは寒いけえ外には出ん！」「アタチは雪はイヤよ。アタチは室内飼育山羊じゃけえ」犬たちは嬉しい嬉しい天気予報に反しそんなに吹雪かないまま芦別市野花南に到着。今回も今回とて山下清さんちにお世話になります。



山下のお父さん、お母さん、石井さん&そや夫婦にも大変感謝していません。天候は荒れてはいませんでしたが、みなしごバスは凍っていました。さすが北海道♪午後2時、野花南の現場に行くとおったくッ♪お前たち一緒に栃木拠点に帰るんよ石

井さんは、この1年間車で1時間もかけてこの猫のお世話に通つて来てくれました。電気は通つていますが水は止まっていますので水運びも大変じゃつたと思ひます。懐かしいじいさんち、このお宅の親戚のお母さんと山下さんと石井さんが1年間愛情をかけてお世話をしてくれたから人馴れしていなかつた猫たちもすつかり馴れてくれ、あ炭鉱で栄えていたころにこころ一帯で飼われていた猫が閉山とともに置き去りにされそれを哀れんだこのじいさんがお世話していたけれど猫は毎年子どもを産み、気がつくとこの町にはお年寄りが2人しか住んでおらず、2013年8月に私たちがTNRに來たので「これで猫は増えんし、あと数年じいさんが頑張つてくれたら」と思つていたら3ヶ月後にじいさん倒れ、寒い冬が来る前に再び北海道へ。その時どくしても捕まらない子が数匹。暖をと



るためあえて10匹前後を残し、その子たちを今回全頭連れて帰つて北海道芦別TNRが終了するという話です。猫たちはこのビニールハウスを通過してここから室内外を自由に出入りしてました。段ボール製の遮寒ドアです。ほんのちよつとこのことで助かる命はいくらでもあります。

前回残つた猫は8匹。1年間様子を見たので間違ひはありません。そのうち状態を崩し石井さんちで養生していた子はそのまま石井さんちの子になるので連れて帰るのは7匹です。石井さんと親戚のお母さんが手で捕まえクレイトに？これが猫たちにとって一番優しい方法です。石井さん1年間お世話ありがとう山下さんの娘そや妻、毎回ご協力ありがとう。ご褒美はみなしごバスでの移動(笑)2人は大喜びでした(笑)北海道夜になると普通に氷点下。

初日はマイナス4℃、2日はマイナス8℃。みなしごバスは朝まで灯油ストーブを2台つけたまま。それでも0℃か1℃。これから栃木拠点の医療棟で健康チェックとマンソン駆除をし(カエル食べ放題だったから)1年ぶりの再会となります。あれでも、あれでも誰か残つていたら困るからとごはんを置いて今朝行つてみたら「誰かが食べとる！」野生動物かも知れんけど猫だったらえらいことなので今夜は捕獲器を仕掛けます。寒さに弱い広島人。野花南の猫の問題は終わつたけど、次は普通に遊びに来てくださいと言つていただき「来るよ。来るよ。山下旅館の女将が作るごはんは最高じゃけえ」おおかたの予想をくつがえし、私たちが野花南に滞在している間はもろろ北海道なのでマイナス12℃とかにならないけど空はずつと晴



